

# 交通安全とやま



No.393 令和5年夏号

発行者／公益財団法人富山県交通安全協会・交通安全活動推進センター



第56回交通安全子供自転車富山県大会

## 交通安全への提言



会長 野村 栄光

一般社団法人  
富山県安全運転管理者協会

当協会は、安全運転管理者選任事業所の安全運転管理者・副安全運転管理者への安全運転管理に関する啓発を行い、交通安全の実現に寄与することを目的とする団体です。また、安全運転管理に功労のあった個人及び団体に対する表彰も行っています。

ここでは、「安全運転管理」ということについて、私が思い考えていることをお話しさせていただきます。

車社会の中で交通事故は、運転のミス、道路環境の不備、また、車の不具合などで発生し、その発生を0（ゼロ）にすることはなかなか難しいものです。

しかし、社会は、その発生を限りなく0（ゼロ）に近づけて行くために、道路環境の整備や車の性能の向上などを進め、ある程度の効果は得られています。私が一番重要だと考えるのは、その交通・道路を利用する人の心のあり方だと思っています。

私自身も安全運転管理者という立場

で、日々運転者への安全教育や運転管理に携わっていますが、交通事故0（ゼロ）への近道には、地道な活動しかないという考えで、点呼や安全教育の場で繰り返し話していることがあります。

それは、運転者に対して、「君達が運転免許証を持っていないかった時期を思い起こしてください。危ない運転にあって事故に遭いそうになった時、その反対で、横断歩道などで先に横断を促されるような親切な運転にあった時、どう思いましたか。」ということ。皆様は、どう思われますか？

安全な運転というのは、その運転者の感情つまり、人の心に左右されるところが大きく、私は安全運転管理者として運転者に常に求めているのは、「人を思いやる心を忘れるな。ハンドルを握ったら思いやり運転を実践する。」ということ。安全への近道は、安全活動を緩めることなく継続し、道路を利用する全ての人が思いやりを持って行動するという社会の実現が一番だと考えています。

終わりに、当協会は、交通安全の実現に寄与する団体として、引き続き、貴協会や関係機関団体と連携して、ご支援ご協力をいただきながら、その目的達成に向けて邁進して参ります。

# 第56回交通安全子供自転車富山県大会を開催しました

7月2日(日)9時より富山市高島の運転教育センター及び自転車練習コースにおいて第56回交通安全子供自転車富山県大会（主催：当協会・県警察本部、後援：県交通対策協議会・県教育委員会）を開催しました。この大会には県内14警察署を代表する小学校（1チーム4人）が参加し、競技を通じて児童が自転車運転の知識や技能を身に付けるとともに、安全意識を向上させ各小学校の交通安全リーダーとして交通事故防止を図ることを目的として開催されました。

出場した各選手が真剣に競技に取り組んだ結果、団体の部は南砺市立福光中部小学校チームが、個人の部では波多風太郎選手（南砺市立福光中部小6年）が優勝しました。

団体優勝した南砺市立福光中部小学校の4人の選手は、8月9日(水)に東京都内で開催される全国大会に当県代表として出場します。入賞したのは次の方々です。

**【団体】** 優勝：南砺市立福光中部小学校チーム、準優勝：砺波市立鷹栖小学校チーム、第3位：小矢部市蟹谷小学校チーム

**【個人】** 優勝：波多風太郎（南砺市立福光中部小6年）、準優勝：森潤南（南砺市立福光中部小6年）、3位：若松咲希（砺波市立鷹栖小5年）、4位西坂美潤（砺波市立鷹栖小6年）、5位：沢田怜梨（砺波市立鷹栖小6年）、6位：水口綾七（南砺市立福光中部小6年）、7位：杉浦翔月（南砺市立福光中部小6年）、8位：堀川桃榎（砺波市立鷹栖小6年）、9位：山本唯（小矢部市立蟹谷小5年）、10位：増垣乃壘（魚津市立清流小6年）



団体優勝した南砺市立福光中部小学校の児童たち



個人優勝の波多選手



学科テストに取り組む児童たち



ジグザグ走行を慎重に進む児童



交差点を右折する児童

## 郵便配達車両に啓発ステッカーを貼付しました

当協会と県軽自動車協会及び県警察本部は富山県内の郵便配達業務車及び四輪車約1,100台に貼付する「横断歩道は歩行者優先！」と記されたステッカーを日本郵便(株)に贈呈しました。ステッカーを貼付した車両は、局員やドライバーの安全運転意識向上（横断歩道での歩行者優先）を図りながら日々の配達業務を行っています。



横断歩道は歩行者優先！

## 交通安全・防犯を訴える「パト電」を運行しています

当協会と富山地方鉄道、県自動車販売店協会及び県警察本部は、共催でパトカーをイメージしたラッピングを施した路面電車「パト電」を富山市内中心部で3月18日から1年の間運行しています。この「パト電」の姿を利用者や住民らに見てもらうことにより、交通安全や防犯の意識を高め事故事件が抑止されることを目的としています。



富山市内を走る「パト電」

## 横断歩道

止まってくれてありがとうございます運動の推進中

当県の信号機のない横断歩道における自動車の一時停止率（JAF調査）は平成元年には5.3%（全国44位）でしたが、広報啓発などにより年々上昇し令和4年には37%（全国25位）になりました。しかしまだ全国平均（39.8%）を下回っています。

このため継続的な啓発活動が必要として、当協会とエフエムとやま株では、6月から8月の間、キャンペーンアンバサダーに黒部市出身のタレント橋本せいなさんを起用しFMラジオを聴いているドライバーに向けて横断歩道の一時停止を呼びかける「横断歩道「止まってくれてありがとう運動」を推進しています。

### 横断歩道は歩行者優先です！

運転者の皆さん、信号機のない横断歩道での歩行者優先はマナーではなくルールです。横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合は、一時停止し通行を妨げないようにしてください。

歩行者の皆さん、ハンドサインで運転者に横断歩道を渡る意思を伝えましょう。また、止まってくれたドライバーに「ありがとう」の気持ちを伝え渡りましょう。

信号機のない横断歩道での交通事故が1件でも少なくなるようご協力をお願いします。



「ありがとう」を伝えるとドライバーも優しい運転になるよ。



FMとやまHP



## 令和5年度「交通安全ファミリー作文コンクール」作品募集中

皆さんの家庭、学校、地域等において、交通安全について考え、話し合った内容や、その結果実行していることなどを作文に書いて応募してください。

### 応募締切

令和5年9月8日(金)消印有効

### 応募部門

小学生の部  
中学生の部

詳しくはこちら▼



警視庁HP

## 令和6年使用「交通安全年間スローガン(標語)」募集

社会の交通安全意識を高め、交通事故を減らす目的で、スローガンを募集します。

最優秀作は令和6年春と秋の全国交通安全運動で使用するポスターのスローガンになります。

### 応募締切

令和5年9月25日(月)消印有効

### 応募部門

一般部門A（どなたでも応募可）  
運転者(同乗者を含む)に呼びかけるもの  
一般部門B（どなたでも応募可）  
歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの

こども部門（中学生以下のみ応募可）  
こどもたちに交通安全を呼びかけるもの

詳しくはこちら▼



毎日新聞HP

## もしもに備えて 自転車にも保険を

自転車は自動車と同じ車両です。きちんと点検整備した安全な自転車でも、ルールを守り安全運転に心がけましょう。知っていますか？緑色TSマーク

令和4年12月1日から緑色TSマーク(自転車向け保険)の運用が開始されました。



### 手続きは簡単

お近くの自転車安全整備店で、点検整備(有料)を受けTSマークを貼ってもらうだけ。年齢に制限なし

### 誰が運転していても補償の対象

TSマークが貼付された自転車であれば、原則どなたが運転しても補償の対象となります。

### もしもの時に安心

緑色TSマークはすべての人身事故の相手が賠償責任補償の対象となります。賠償責任補償の限度額は1億円。安心が広がります。

### 安心の示談交渉サービス

スムーズな解決のためにあなたに代わって保険会社が示談交渉を行います。さらに、安心が広がります。ただし、自転車の搭乗者が業務中の場合は、対象外となります。(保険金は支払われません)

※TSマーク付帯保険の有効期間は1年です。毎年1回は点検整備を受けて、TSマークを更新しましょう。



# 各地区の交通安全活動状況

これらの活動は皆様方からいただいた協力金・賛助金で行っています。これからもご理解とご協力をお願いいたします。



各地区の交通安全活動はこちらからもご覧いただけます。

## ◆高岡交通安全協会◆



高岡交通少年団が小学校付近において、道行く歩行者や自動車等に交通安全の励行等を呼び掛けました。

## ◆立山町交通安全協会◆



立山町利田の大日橋東詰交通安全祈願塔前広場において交通安全祈願法要を行い、犠牲者の冥福と交通事故のない立山町実現を誓いました。

## ◆黒東交通安全協会◆



高齢者交通安全教室を開催。DVD視聴や高齢者事故の特徴等を学びました。また参加高齢者の履物に反射材を貼付し、夜間における反射材の活用を呼びかけました。

## ◆氷見市交通安全協会◆



交差点を通るドライバーや歩行者等の心が和み、交通事故防止への願いを込めて、氷見警察署前交差点に設置してある花壇の花の植替えを行いました。

## ◆富山中央交通安全協会◆



富山市内の各小学校において、新1年生を中心に交通安全教室を行いました。DVDを視聴した後、学校周辺の通学路を使用し、安全な横断歩道の渡り方等の訓練を行いました。

## ◆黒部市交通安全協会◆



保育園児とその家族を対象に、親子交通安全教室を行いました。NHKの交通安全ソング「ててて！とまって！」にあわせて、園児と一緒に踊って交通ルールを学びました。

## ◆砺波市交通安全協会◆



「子どもと高齢者の交通安全の日」にスーパーの来店客に対し、反射材付きのエコバッグや啓発物を配布し、子どもと高齢者の交通安全を呼びかけました。

## ◆富山南交通安全協会◆



ショッピングセンターにおいて、山室中学校吹奏楽部による交通事故防止を願う吹奏楽を披露していただきました。多くの来場者で賑わい、有意義なキャンペーンとなりました。

## ◆魚津市交通センター◆



交番前道路で、魚津市身体障害者デイサービスセンター利用者の皆さんが、手作りのマスコットやチラシを通行車両に配付し、飲酒運転の根絶と安全運転を呼び掛けました。

## ◆南砺市交通安全協会◆



9集落内に設置されたカーブミラー38基の点検・清掃を行い、水垢でくすんだ鏡面を磨きピカピカにして、交通事故防止に寄与しました。

## ◆富山西交通安全協会◆



富山商業高校書道部員が、書道パフォーマンスをとおして交通安全メッセージを作成。富山西警察署エントランスに掲示して来訪者等への交通安全の周知を図ります。

## ◆滑川市交通安全協会◆



春の全国交通安全運動の初日、市内各所で交通安全啓発活動を行いました。同時に「横断歩道おもいやりの日」キャンペーンとして、ドライバーに交通安全を呼びかけました。

## ◆小矢部市交通安全協会◆



メルヘンポリスの委嘱状交付式を行いました。毎年石動西部子ども園年長園児にメルヘンポリスを委嘱し、年間の交通安全諸行事に参加して交通安全を呼びかけてもらいます。

## ◆射水交通安全協会◆



大島小学校に「事故へっちまえ作戦」用のヘチマ苗を贈呈、児童と同校花壇に手植えしました。秋には化粧品のヘチマ水とチラシを配布するキャンペーンを展開する予定です。

## ◆上市区域交通安全協会◆



横断歩道おもいやりキャンペーンで、大岩日石寺で交通安全の御祈禱を受けた手作りストラップと啓発チラシを通行するドライバーに配布して安全運転を呼び掛けました。